

2018年度12月20日 理事会議事録

1 日時：2018年12月20日（木）19：00～20：28

2 場所：神奈川県作業療法士会事務所

3 理事会定数

出席理事：錠内・野々垣・木村・金山・吉本・佐々木・神保・遠藤・作田・澤口・大郷

計 11 名

欠席理事：奥原・玖島・野本・名古屋・村越・佐藤 計 6 名

出席監事：田中・糊澤 2 名

その他：明立・平山（共に事務局員 書記）

4 議長団選出

議長：錠内会長

副議長：木村副会長

議事録署名人：錠内会長・神保理事・糊澤監事

5 配布資料 資料 1 各部・委員会提出資料

資料 2 2019年度予算案詳細

資料 3 財務状況

資料 4 2019年度総会資料まとめ

6 回覧資料 医歯薬出版 教科書・参考書目録

7 審議事項

(1) 重点課題の要旨

1) 事務局 就業規則について

今まで雇用契約書で対応していた就業規則を社労士に依頼し作成。野々垣副会長から説明があり、理事会内で確認した。指摘を受けた部分を社労士に再確認する。雇用契約書も新しく作成したので、理事会で提案する。

2) 学会評議委員会 次回臨床大会について

学会と臨床大会の目的・役割が不明確なため、当会としての学会・臨床大会の在り方について検討するため、2020年の臨床大会を見送りたいと提案がある。意見交換を行い、見送るか開催方法を変更して行うか、学会評議委員で再度検討してもらい、1月24日の理事会で再提案する。

(2) 審議項目の要旨

1) 事務局 震災委員の推薦について

(ア) 相模原市介護認定審査会委員

河村晃依氏（北里大学）継続、迫田裕司氏（田名老人保健施設光生）新任⇒承認

(イ) 厚木市障害者介護給付費等の審査会委員

玉垣幹子氏（神奈川リハビリテーション病院）継続⇒承認

2) 学術部 会員交流会日程について

2019年6月16日（日）イムス国際看護専門学校にて開催予定。

8 審議内容（詳細）

(1) 事務局

1) 重点課題

(ア) 就業規則について

重点課題の要旨「事務局就業規則について」参照

⇒理事会承認後、対象の事務局員に説明する。

2) 審議項目 なし

3) 報告

(ア) 茅ヶ崎市地域ケア会議への出席依頼

地域包括ケアシステム推進委員会に推薦依頼

(イ) 相模原市障害支援区分判定等審査会

佐々木秀一氏（北里大学病院）、湯浅まり氏（相模台病院）、佐藤隼氏（さがみりハビリテーション病院）（以上継続）、前場洋佑氏（北里大学）（新規）

(ウ) 湘南ふれあい学園より

お歳暮が届いた。お礼状発送済。

(エ) 協会平成30年度第3回47都道府県委員会について

2019年2月2日～3日に開催。TKP市ヶ谷カンファレンスセンター

(オ) 渉外

ア) 神奈川県放射線技師会 2019/1/18 金 18:30～20:00 崎陽軒本店4階会長出席

イ) 神奈川県栄養士会 2019/1/25 金 18:00～ 崎陽軒本店マンダリン5階
木村副会長出席

ウ) 神奈川県病院協会 2019/1/16 水 17:30～ 横浜ベイホテル東急地下2階
金山事務局長出席

エ) 神奈川県看護協会 2019/1/24 木 18:00～横浜ロイヤルパークホテル 欠席

オ) 神奈川県臨床検査技師会 2019/1/11 金 19:00～HOTEL CAMELOT JAPAN
野々垣副会長出席

(カ) 選挙委員長について

池田公平氏が互選された。1月の会議に参加予定。

(キ) 事務局の設備について

ア) PC 動きが悪くなっているもの、動かなくなってしまったものがある。購入予定。

イ) 電灯について LED 電気への変更終了。

(ク) 年賀状

昨年をベースに関連団体へ発送予定。

(2) 財務部

1) 重点課題 なし

2) 審議事項 なし

3) 報告

(ア) 財務状況報告・今後の課題と対策について

当会の支出、収入、運営準備金（繰越金）、積立について説明がある。毎年運営準備金取り崩しを予算に組み込んでいる為、純粋な収入だけでは足りていない。学会は積立金で実施しており、収入がないと開催できない。学会運営費として貸し付けた金額の3割程度しか返ってきていない。

今後の課題について「予算案の明確化」「(繰越金に依存しない) 緻密な予算作成」「収入源の拡大」「専門家の協力・助言」が上げられた。

(イ) 質疑応答

- ・今回は一般社団法人としての報告であり、公益化した場合の寄付など考え方が変わってくるのではないかと（神保）
- ・学会については毎年 200 万程度支出されている。会場費などを安くしてもかわらないかと（佐々木）
- ・会場費が占める割合は大きいので安い会場があればそれにこしたことはない（吉本）
⇒学会の会場等運営方法については財務とも協力して検討していく。

(3) 学術部

1) 重点課題 なし

2) 審議事項

新人オリエンテーションの日程について 審議項目の要旨「会員交流会日程について」参照。

3) 報告

(ア) スキルアップ研修事業

ア) リウマチの作業療法～私たち OT にできること～スプリント療法を中心に

2018年11月23日（祝）13:00～16:00 横浜南共済病院会議室

講師：中西理佐子氏 作業療法士、長岡章平氏 医師、鈴木良江氏 薬剤師
牧田優佳氏 作業療法士、前田優氏 作業療法士(全員横浜南共済病院)

参加数：27名

イ) 認知症の生活支援で私たちができること

2018年12月9日(日) 13:00~16:00 ハーモニーとよおか

講師：渡邊信介氏 作業療法士(介護老人保健施設 鶴舞乃城)

小滝治美氏 理学療法士(初富保健病院)

参加数：28名

ウ) 研究ははじめの一步, 押さえておきたい研究周辺知識

2018年12月8日(土) 13:00~16:00 イムス横浜国際看護専門学校

講師：内田健太郎氏 臨床工学士(北里大学医学部整形外科学講師, 医学博士)

参加数：25名

エ) 手指・上肢運動麻痺への徒手アプローチ

2019年1月20日(日) 10:30~16:30 予定 済生会横浜市東部病院

講師：田邊浩文氏 作業療法士(湘南医療大学 保健医療学部リハビリテーション学
科 教授)

参加数：40名(予定)

オ) クライシスプラン&リスク管理(仮)

2019年3月17日(日) 藤沢市民会館

講師：星竜平氏 作業療法士(訪問看護ステーションみのり横浜)

武井寛道氏 作業療法士(藤沢病院)

立山和久氏 作業療法士(久里浜医療センター)

参加数：40名(予定)

(イ) 学術誌刊行事業

これから本格的な編集作業となり、3月の刊行予定である。

(ウ) 研究助成事業

決定した3課題に対して助成を行った。来年度はマニュアル化策定に動く。

(5) 広報部

1) 重点課題 なし

2) 審議事項 なし

3) 報告

(ア) ニュース班

ア) 順調に年6回発行を実施できている。

(イ) 対外広報班

ア) 活動報告

(a) はろーよこはま

2018年10月7日 横浜スタジアム周辺

医療専門職連合会で毎年共同出展。班員2.5名で対応（清野・福島・丸井）。

内容：認知機能検査体験と作業療法紹介

来場者：検査体験は5時間で50名対応。パンフレット配布や介護相談・作業療法紹介は30名対応。

(b) 介護フェア

2018年11月4日 横浜そごう新都市ホール

神奈川新聞主催。今年度は理学療法士会・言語聴覚士会と共同出展した。

班員3名で対応（水野・有田・原）。

内容：福祉用具・自助具展示、作業療法紹介等

(c) 川崎介護いきいきフェア

2018年11月14日 かわさきJプロジェクトと共同出展。

班員1名で対応（水野）。

内容：自助具相談・介護相談・作業療法紹介等

(d) ウィーログアプリ バリアフリーマップづくり地域調査イベント

2018年11月17日 班員1名で対応（清野）。

内容：海老名地域のバリアフリー情報の調査協力（今後、バリアフリーマップを作成し、海老名地域に配布を検討していく）

イ) 活動予定

(a) 神奈川県介護支援専門員研究大会ブース出展 2019年2月16日

(b) 地域リハフォーラムブース出展（災害対策班とコラボ予定）2019年2月2日

(6) 福利部

1) 重点課題 なし

2) 審議事項 なし

3) 報告

(ア) 求人掲載(2018.11.6~12.15)

新規掲載13件、変更1件、削除4件

(イ) 学術部合同企画 会員交流会について

2019年6月に開催予定。IMS 横浜国際看護専門学校(今年度同様)を予定。

(7) 制度対策部

1) 重点課題 なし

2) 審議事項 なし

3) 報告

- (ア) 福祉用具関連事業班
 - ア) 福祉用具に関する会員向け研修会
第5回 2018年12月1日 現在募集中 (11名申し込み)
 - イ) 福祉用具相談支援システム
会員向け案内のため事業説明のチラシをニュース10月号封入。
 - ウ) 生活行為工夫情報モデル事業
事業活用法の検討のため2018年8月22日「横浜市地域リハビリテーション活動支援事業説明会」(地域包括ケアシステム推進委員会主催)に班員4名参加。
2018年12月8日全国連絡会出席予定(長田・沼田)。
 - エ) ブログの活用 引き続き適宜情報発信。
 - オ) 他団体からの要請協力
H.C.R (10/10~10/12)。例年通り「ふくしの相談コーナー」への6名人員派遣済み。OT協会より派遣依頼にて東京都士会福祉用具部員と協業し79件の相談対応を実施。会期中の様子はOT協会制度対策部(福祉用具対策委員会)活動報告として日本作業療法士協会誌12月号掲載予定。
- (イ) 社会保障制度対策班
 - ア) 自動車運転とOTに関して
ネットワークづくりを目指し、有志メンバーと意見交換会を今期2回目を予定(12月中)。
 - イ) 日本作業療法士協会の情報配信等を県士会ブログへ掲載 10月中4回
- (ウ) 災害対策班
 - ア) OT協会「災害発生を想定したシミュレーション訓練」
2019年2月8日実施予定。今年度もこれに合わせて、安否確認システムテスト運用を実施予定。
OT協会より昨年度実施状況の報告:参加20士会、うち安否確認を実施していたのは10件→実施した他県士会との情報交換も行っていく。
- (7) 地域リハビリテーション部
 - 1) 重点課題 なし
 - 2) 審議事項 なし
 - 3) 報告
 - (ア) 研修会報告
 - ア) 多職種精神保健セミナー
2018年11月11日(日) 横浜市総合保健医療センター
 - イ) 特別支援教育など講習会
2018年11月4日(日) 横浜リハビリテーション専門学校

ウ) 地域リハ人材育成研修会 (介護予防編)

2018年10月28日(日) ウィリング横浜

エ) 地域リハ人材育成研修会 (地域ケア会議編)

2018年11月4日(日) 横浜YMCA 学院専門学校

(イ) 研修会企画

ア) 地域包括ケアシステム三団体合同研修会

2019年2月24日(日) 会場:未定

講演:神奈川県、神奈川県医師会講師 シンポジウム予定

イ) 難病リハビリテーション講習会 2018

2019年2月10日(日) 予定 ウィリング横浜

ウ) 神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会の報告

(a) 医療介護連携研修会

2018年12月1日(土) AP 横浜駅西口

(b) 訪問リハ学術集会

2019年1月20日(日) 関内新井ホール

(c) 三団体協議会5周年記念パーティー

2019年2月24日地域リハ三士会合同研修会終了後、同じ建物内で開催予定。

対象者は各士会理事と協議会委員・局員。時間:13:00~14:55

(d) 来年度予算案

今後、三士会長と会議予定。

(e) 介護予防普及展開事業アドバイザー

地域ケア会議の県アドバイザーに遠藤理事が就任。

2018年12月11日厚労省主催県アドバイザー研修会参加。

2018年12月20日秦野市地域ケア会議にアドバイザーとして参加予定。

2019年1月31日県主催事業報告会にアドバイザーとして参加予定。

(ウ) その他

ア) 介護予防従事者研修会 (県主催)

例年通り、OT 県士会にも協力依頼と金山事務局長が講師。

相模原会場:2019年1月12日(土)13日(日)10:00~17:30 麻布大学

横浜会場:2019年2月10日(日)11日(祝)10:00~17:30 関内新井ホール

イ) 藤沢市地域ケア会議のリハ専門職派遣、参加依頼

遠藤理事が市職員話し合い人選、参加を行っている。

(9) ウェブサイト管理委員会

1) 重点課題 なし

2) 審議事項 なし

3) 報告

(ア) サイボウズについて

サイボウズの無料期間が来年 7 月で終了する。有料版で継続か判断する時期が迫っている。⇒次回の理事会で審議する。

(10) 学会評議委員会

1) 重点課題

(ア) 2020 年臨床大会の中止について 7 重点課題「次回臨床大会について」参照

以下の理由から中止を検討している。

ア) 学会と臨床大会の目的・役割が不明確になっている現状

学会は発表の場、臨床大会は聴講の場として設定されている（過去の理事会資料より）。当士会は学術部や教育部などの研修会で聴講の場は保障されているのではないか。

(イ) 当士会の財政状況について

学会・臨床大会ともに会場費など多額の予算を支出しているが、収入に結び付いておらず、財政を圧迫する状況を招いている。

⇒学術部などと合同で臨床大会に代わる研修会を開催できないか検討する時間としたい。

(ウ) 意見交換

- ・ 県士会として学会や臨床大会をどういう位置づけにするかが決まらないと中止するかは判断しにくい。人手や費用の面で中止するのは議論の開始点が違うのではないか。県士会の思惑と現場が感じている雰囲気が違う。発表したくても落選して発表できなかった人もいる。2020 年に大会を無くすと会員は「なぜか」という疑問を抱くだろう。名前はそのままにして聴講だけという風に形を変えて実施するのも 1 つの手ではないか（大郷）
- ・ 臨床大会を担当したが、マニュアルもなくどのように運営するのかわからなかった（遠藤）
- ・ 臨床という名前がついているから発表の場ではないのか。毎年学会をやっている県もあるので参考にしてもいいのではないか。金銭面上難しいと話があるが、当士会は収入を目的に活動しているわけではない。中止する場合、会員に説明できる内容でないといけない（澤口）
- ・ 東京都士会などはブロックで持ち回り運営している。運営方法の統一もされていない。今後の運営方法について検討する時間がほしい（野々垣）
- ・ 今後を検討するための時間が必要なのであれば、中止でもいいのではないか。理事会主催の発表する場があってもいいかも（作田）
- ・ 学会は出費が大きい。収入を目的とするものではないが、お金が無くなると活動自体

できなくなる。学会の位置づけをしっかりとする必要がある（吉本）

- ・臨床大会を提案した時には聴講の場と決めていないし、内容はなんでもいい。今県士会の中でどういう形がいいのかを検討するのが学会評議委員会である。まとまったものを理事会で提案した方がいい（田中）

⇒1月の理事会に整理して提案する

- 2) 審議事項 なし
- 3) 報告事項 なし

(1 2) 認知症対策委員会

- 1) 重点課題 なし
- 2) 審議事項 なし
- 3) 報告

(ア) OT 協会認知症推進委員会議（10月27日28日）報告

ア) 認知症アップデート研修について

更新内容配布。実施義務はなく各士会に一任（来年度神奈川は開催予定）。
協会内の位置付けは今後確認とのこと。

(1 3) 地域包括ケアシステム推進委員会

- 1) 重点課題 なし
- 2) 審議事項 なし
- 3) 報告

(ア) 横浜市地域リハビリテーション活動支援事業研修会（横浜市主催）

2018年12月13日（木）19:00～20:30 横浜市社会福祉センター

参加数：PT 71名、OT 16名、ST 9名

理事では錠内会長、木村副会長、金山事務局長が参加

(イ) 地域包括ケアシンポジウム（委員会主催）

2019年1月13日（日）14:00～17:00 あーすぷらざ

人数：100名 費用：会員1,000円、会員外2,000円

※募集期限を12/20→1/10まで延長とした。周知依頼あり。

(1 4) 総会について

総会議案書案、予算詳細について最終修正は3月末まで。加筆・修正があれば事務局まで連絡。

9次回理事会日時・場所

- (1) 三役会開催日 2019年1月9日（水）19:00～

(2) 理事会開催日 2019年1月25日(木) 19:00～

(3) 会場 一般社団法人神奈川県作業療法士会事務局

以上(文責:明立・平山・金山)

議事録署名人議長:	錠内 広之	印
理事:	神保 武則	印
監事:	糊澤 直美	印